

授業研究仮説 日本の伝統について発表したり話し合ったりする場を設定し、発表内容や構成を考えるために教材文を読み取る学習を行えば、文章の構成に注意して内容を読み取ったり、自分の考えをもったりする能力を身に付けることができるであろう。

1 単元 伝え方を工夫して受け継ごう！日本の伝統 「鯉節—世界に誇る伝統食」

2 単元の見どころ

- (1) 日本の伝統について意欲的に文章を読み、その特徴やよさを見つけ、受け継ぐことの大切さや難しさを考えようとする。 (関心・意欲・態度)
- (2) 文章の構成や書き方の工夫に注意して内容を読み取ることができる。 (読むこと)
- (3) 筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができる。 (読むこと)
- (4) 語句の効果的な使い方や表現上の工夫を捉えることができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 指導にあたって

生徒は、第1学年「オオカミを見る目」において、段落の役割や段落どうしの関係に着目して文章の構成や内容を捉え筆者の文章の書き方について自分の考えをもつ学習を行ってきた。本単元では、文章全体と部分との関係や、筆者の書き方の工夫に注意して内容を読み取り、筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことを目標としている。本教材である東京書籍「鯉節 - 世界に誇る伝統食」は、日本の伝統食である鯉節の製法の知恵と保存食品としてのすばらしさ伝承する使命などが段落ごとに書かれており、分かりやすい文章構成と内容になっており、本単元で身に付けたい力である「文章の構成に注意して内容を読み取り、自分の考えをもつ」ことができる教材である。

本学級の生徒は、今年1月に行われた県学力診断のためのテストにおいて、県平均正答率より低かった問いは、小問11「文脈に即して内容を読み取る力」と、小問14「読み取ったことを要約して説明する力」であった。どちらも記述式の問題であり、内容を正確に読み取ったり、要約したりする力に課題があることが分かった。

そこで、本単元で身に付けたい力である「文章の構成に注意して内容を読み取り、自分の考えをもつ」ことを達成するための言語活動として、「文章の構成や内容を踏まえて、伝統について話し合うこと」を設定し、単元の最後に、自分が選んだ日本の伝統について、その特徴やよさ、価値などを見つけることを通して、受け継ぐことの意味や大切さ、難しさを考え友達に向けて発表したり話し合ったりする時間を設定する。単元の前半は、選んだ伝統の発表内容などを考えるための準備として、教材文の文章構成を学んだり内容を読み取ったりする。後半では、自分が選んだ伝統について集めた情報を基に発表内容を吟味したり自分の考えをまとめたりする。その際、グループでの話し合い活動の時間を多く設定することで、主体的・対話的な学びとなるようにする。また、単元を見通した学習となるように学習計画表を活用し、振り返りの時間や次時の学習との繋がりを意識することで、多面的な深い学びを旨とする。さらに、道徳との関連を図り、友達の考えを尊重し互いに理解する寛容の心と、我が国固有の優れた伝統のよさについて理解を深め、その価値を継承していこうとする態度の育成を図る。

4 学習と評価の計画（7時間扱い）

第1次 単元の最後に発表会を開くことや、そのために学習する内容を知る。 1時間

第2次 自分が選んだ日本の伝統のよさや価値を紹介し、自分の考えを発表するために、教材文の文章構成を学んだり内容を読み取ったりする。 5時間

時	主な学習活動	評価の重点			評価規準
		関	読	知	
1	教材文の文章構成や筆者の書き方の工夫を捉える。	○	◎	○	書き方の工夫に注意しながら文章構成を捉えている。 (観察・構成図)
2	筆者のものの見方や考え方を捉えながら要約をする。	○	◎		重要なことを落とさずに要約している。 (要約文)
3	自分が選んだ伝統について友達に伝えたいことを調べる。	◎			自分が選んだ伝統の特徴やよさ、価値などを見つけている。 (観察)
4 本 時	自分が選んだ伝統について、集めた情報を基に発表内容を吟味し、自分の考えをもつ。	○	◎		教材文で読み取ったことを生かして、発表内容を吟味し、自分の考えをもっている。 (構成図・原稿用紙)
5	選んだ伝統の特徴やよさ、受け継ぐことの大切さや難しさについて、考えをまとめる。	○		◎	教材文で読み取ったことを生かして、発表内容や自分たちの考えをまとめている。 (観察)

第3次 発表会を開き、話し合う。 1時間

5 本時の指導

(1) 目標

- ・日本の伝統について意欲的に文章を読み、その特徴やよさを見つけ、受け継ぐことの大切さや難しさを考えることができる。 (関心・意欲・態度)
- ・集めた情報を基に発表内容を吟味し、自分の考えをもつことができる。 (読む能力)

(2) 準備・資料

掲示用学習計画表, 教材文の構成図 (第1時で学習したもの), 個別指導用プリント, 原稿用紙

(3) 展開

学習内容・活動	支援・援助の視点と評価 ◎個への支援の手立て ◇道徳性との関連
<p>1 本時の学習を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">発表内容を吟味し、自分の考えをもとう。</div> <p>2 本時の学習活動の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手順を確認する。 ・教材文の構成や内容を見直す。 <p>3 集めた情報を基に、発表内容を吟味する。</p> <p>4 伝統を受け継ぐことの大切さや難しさについて考える。</p> <p>5 互いの考えを聞き、再考する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内の友達と考えを交流する。 ・自分の内容を再考する。 <p>6 本時の振り返りと、次時の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の最後に自分たちが選んだ伝統の特徴やよさなどを紹介し、受け継ぐことの意味や大切さ、難しさを考えたり話し合ったりすることを学習計画表で確認する。また、本時は発表内容や考えをもつための大切な時間であることを話すことで、本時の学習の必要性が実感できるようにする。 ・第1時で作成した構成図を見直すことで、本時の学習でどのように活用できるかが分かるようにする。 ・教材文の構成図を参考にして、自分たちが選んだ伝統を紹介する内容を考えるようにすることで、前時までに学んだことを活用する力を育てる。 ・教材文の構成図の横に、自分たちのグループの内容を加えていくようにし、情報を整理しやすくする。 <p>◎内容を考えることができない生徒には、グループの友達と一緒に活動し、考えに共感したり共有したりすることで、本時の目標に近づけるようにする。</p> <p>◇我が国固有の優れた伝統のよさについて理解を深め、その価値を継承していこうとする態度の育成を図る。</p> <p>(読む能力) 集めた情報を基に発表内容を吟味し、自分の考えをもつことができたか。 (構成図・原稿用紙)</p> <p>【Aと判定する根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文の構成や内容を参考にしながら自分が選んだ伝統の内容を考えそれを根拠として自分の考えをもつことができていること。 <p>【Cと判定される生徒への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えがもてない生徒には、個別指導用のプリントに書き込むようにすることで、ポイントを絞って考えられるようにする。 ・グループ内の友達と考えを交流する時間を設定し、主体的・対話的な学習となるようにする。 ・本時は自分の考えをもったり、友達の考えに触れたりすることに重点をおき、次時でグループの考えをまとめるようにする。 <p>◇グループの友達の考えを尊重し互いに理解する寛容の心を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表を使って、本時の自己評価をする。 ・次時は、本時の学習を生かして、発表資料を作ることを確認する。